

2020年11月10日  
株式会社みずほ銀行

## InvesTaiwan との日系企業による台湾半導体産業への 投資促進支援に関する業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、本日、InvesTaiwan との間で、日系企業による台湾半導体産業への投資促進支援に関する業務協力覚書（以下「本覚書」）を締結しました。なお、InvesTaiwan との覚書締結は、金融機関として初めてとなります。

InvesTaiwan は、外資企業の対台湾投資支援を主な役割とする組織であり、税制や法制度・人材に係わる情報提供、工業団地入居・各種申請支援等により、外資企業の台湾投資をサポートしています。

近年、AI や 5G の進展により、半導体産業の重要性は世界的に高まっており、世界最大級の半導体生産能力を有する台湾では、半導体関連の増産が相次いでいる状況です。日系半導体サプライヤーは各種部材から製造装置まで、当地の半導体サプライチェーンの主要な工程・製品分野で重要な役割を果たしています。

本覚書の締結を通じ、InvesTaiwan と協力して各種情報提供やセミナーの開催等を行い、台湾半導体産業発展の観点から、日系企業による台湾への投資促進を支援していきます。当行は、1959年に台湾における外国銀行の第1号として支店を開設し、60年以上にわたって台湾経済の発展に貢献してきました。今後も、日台企業へのサポート強化を通じて、日台の経済発展とビジネスの活性化に貢献していきます。

以 上